

のぐち歯科・口腔外科医院だより

2021年春号 Vol.14



祝 開業5年目の春

おかげさまで当院は3月22日で開業5年目になります。2017年の開業当初より①患者様が安心して通院できる「かかりつけ歯科医院」②「安心・安全・清潔」な歯科医院の運営を目標を掲げてスタッフ一同、努めて参りました。開業前は、患者様が来院していただけるか不安でしたが、檀田地区をはじめ近隣から多くの方が来院してくださり、大変嬉しかった事を覚えています。また、一昨年、堀ちえみさんの口腔がん報道の際には、当院が**口腔外科を専門とする1次医療機関**であったこともあり、口腔がんを心配された患者様が、松本市や佐久市、上田市をはじめ、富山県、新潟県、山梨県からも来院され大変驚きました。

安全な医療を提供する為には、スタッフの充実も欠かせないところですが、当院は経験豊富なベテランからやる気溢れる新人まで幅広く人材を確保することができています。令和3年度は、さらに歯科衛生士2名が加わる予定で、受付（歯科助手）1名、歯科衛生士6名の体制になります。これにより5年目の当院は、通常の診療の充実と厚生労働省が推進する「地域包括ケアシステム」における**在宅医療（訪問歯科診療）**にも力を注いでいく予定です。

昨年来、感染対策が望まれる世の中ですが、当院は、長野県歯科医師会より「**感染対策強化型診療所**」の認定を受けております。十分な感染対策を行って診療をしておりますので、患者様は、安心して通院してください。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



知って得する歯科の知識 14

歯周病が全身に及ぼす影響② 糖尿病

以前より歯周病は糖尿病患者の合併症の1つと考えられていました。
最近、**歯周病になると糖尿病が悪化する**という逆の関係も明らかになってきました。

①歯周病菌は歯茎から容易に血管内に侵入して全身に回ります。

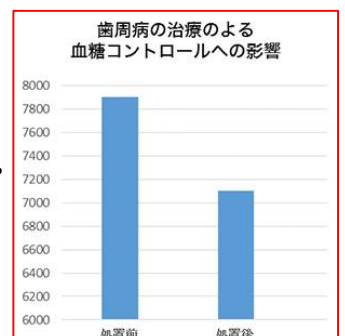
→血管に入った歯周病菌は体の中で死滅しますが、歯周病菌の死骸が持つ内毒素は血液中に残ります。
* 内毒素とは 細菌の細胞壁に含まれる毒素

②内毒素は血糖値に悪影響を及ぼします。

→血液中の内毒素は、脂肪組織や肝臓から「TNF- α 」という炎症性サイトカインを産生します。「TNF- α 」は、血糖値を下げるインスリンの作用を弱める為、血糖値が上昇します。

③歯周病治療で糖尿病コントロールが改善することがあります。

→歯周病を合併した糖尿病患者に抗菌薬を投与しながら歯周病治療をしたところ血液中的「TNF- α 」濃度が低下し、血糖値のコントロール状態を示すHbA1c値も改善したという報告があります。



(参照:日本臨床歯周病学会)